

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月11日

上場会社名 中部水産株式会社  
 コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 堀 健雄  
 (氏名) 鈴木 祥司

上場取引所 名  
 TEL 052-683-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,802	△7.9	2	4.1	54	△12.7	38	△11.4
21年3月期第1四半期	11,725	—	1	—	62	—	43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.06	—
21年3月期第1四半期	2.15	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	15,247	12,469	81.8	670.21
21年3月期	14,870	12,364	83.1	664.15

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 12,469百万円 21年3月期 12,364百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	22,870	△1.4	20	49.7	110	11.3	60	9.7	3.22
通期	47,300	0.2	50	15.2	210	6.8	130	△38.8	6.98

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	21,269,000株	21年3月期	21,269,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,664,154株	21年3月期	2,651,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	18,607,585株	21年3月期第1四半期	20,095,229株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策効果などにより一部の業種に持ち直しの動きが見えたものの、世界的な景気後退の影響は大きく、企業収益や雇用情勢など、先行きの見通しは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、企業間の競争激化に加え、消費者の節約、低価格志向が益々強まり、個人消費が低迷するなど、経営環境は一層厳しくなっております。

この結果、売上高は、高級商材の販売不振や魚価安などにより卸売部門が大幅に減少したため、10,802百万円(前年同四半期比7.9%減)となりました。利益面については、売上総利益率の上昇と販売費及び一般管理費の減少で営業利益は前年並で推移しましたが、受取配当金などの営業外収益が減少したため、四半期純利益は38百万円(前年同四半期比11.4%減)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚部門は、メジ、銀ザケフィレ、生キハダなどの入荷増による売上増がありましたが、ウナギ、カツオ、冷凍マグロなどの取扱減、ヒラメ、タイなど多品種において魚価安による売上減があり、売上高は5,459百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。

冷凍魚部門は、冷カニ類など高価格品の荷動きが悪く、冷鮭鱒の取扱減、冷エビの単価安などにより売上が減少し、売上高は1,744百万円(前年同四半期比17.2%減)となりました。

塩干魚部門は、中華惣菜の取扱増やチリメン類の入荷増による売上増がありましたが、時鮭、開きアジ原料、小女子の不漁による入荷減、加工原料のカラスカレイの取扱減による売上減があり、売上高は3,049百万円(前年同四半期比2.8%減)となりました。

この結果、卸売部門の売上高は10,252百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

(その他の事業部門)

飼料工場部門は、養鰻用飼料が、韓国向輸出の増加で売上増となりましたが、水産向魚粉の取扱数量減少、養魚用飼料が魚価安による養殖業者の需要減で売上減となり、売上高は306百万円(前年同四半期比26.2%減)となりました。

食品加工工場部門は、佃煮原料の切イカが需要減で落ち込みましたが、消費動向に対応したPB製品やセット製品が伸長し、売上高は112百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

冷蔵工場部門は、委託者の物流経費の節約意識の高まりから全体的に在庫量が減少し、特に保税貨物、塩鮭鱒の取扱量の減少が響き、売上高は99百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

不動産賃貸部門の売上高は、30百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。

この結果、その他の事業部門の売上高は549百万円(前年同四半期比17.6%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少110百万円などがありましたが、有価証券の増加200百万円、商品及び製品の増加156百万円や投資有価証券の増加142百万円などにより、前事業年度末に比べ376百万円(2.5%)増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加178百万円などにより、前事業年度末に比べ271百万円(10.8%)増加しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加144百万円などにより、前事業年度末に比べ104百万円(0.8%)増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動の結果、投資有価証券の取得による支出等により40百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により78百万円それぞれ減少となりましたが、営業活動の結果、仕入債務の増加等により207百万円増加となったため、前事業年度末に比べ88百万円(1.4%)増加し、当第1四半期会計期間末には6,451百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成21年5月14日発表の業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,813,719	4,924,577
受取手形及び売掛金	2,218,655	2,217,805
有価証券	1,700,000	1,500,000
商品及び製品	665,069	508,343
仕掛品	35,446	28,467
原材料及び貯蔵品	356,668	437,972
その他	127,133	131,441
貸倒引当金	△12,753	△12,728
流動資産合計	9,903,940	9,735,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,741,559	1,772,863
その他(純額)	862,889	866,273
有形固定資産合計	2,604,448	2,639,136
無形固定資産	142,580	35,932
投資その他の資産		
投資有価証券	1,967,962	1,825,407
その他	658,835	670,449
貸倒引当金	△30,386	△35,886
投資その他の資産合計	2,596,412	2,459,970
固定資産合計	5,343,441	5,135,039
資産合計	15,247,381	14,870,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,294,257	1,115,562
受託販売未払金	118,842	156,228
未払法人税等	4,049	6,038
賞与引当金	22,000	72,200
役員賞与引当金	10,800	10,800
その他	459,037	264,257
流動負債合計	1,908,986	1,625,086
固定負債		
長期未払金	189,526	189,904
退職給付引当金	589,681	601,886
その他	89,994	89,411
固定負債合計	869,202	881,201
負債合計	2,778,188	2,506,288

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	11,335,627	11,371,759
自己株式	△1,286,918	△1,282,763
株主資本合計	12,841,306	12,881,593
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△372,113	△516,961
評価・換算差額等合計	△372,113	△516,961
純資産合計	12,469,192	12,364,631
負債純資産合計	15,247,381	14,870,919

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	11,725,631	10,802,372
売上原価	11,164,016	10,273,793
売上総利益	561,615	528,578
販売費及び一般管理費	559,688	526,573
営業利益	1,926	2,005
営業外収益		
受取利息	6,916	5,840
受取配当金	36,032	31,910
その他	17,448	14,547
営業外収益合計	60,398	52,298
営業外費用		
自己株式取得費用	192	35
営業外費用合計	192	35
経常利益	62,132	54,269
特別損失		
固定資産処分損	—	43
特別損失合計	—	43
税引前四半期純利益	62,132	54,225
法人税、住民税及び事業税	22,812	1,049
法人税等調整額	△3,946	14,840
法人税等合計	18,866	15,889
四半期純利益	43,266	38,336

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	62,132	54,225
減価償却費	45,034	44,983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29,050	△5,475
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,000	△50,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,614	△12,204
受取利息及び受取配当金	△42,949	△37,751
売上債権の増減額(△は増加)	△148,886	5,042
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,654	△82,400
仕入債務の増減額(△は減少)	217,932	141,309
未払消費税等の増減額(△は減少)	△101,077	6,354
未払金の増減額(△は減少)	—	100,261
未払費用の増減額(△は減少)	86,958	△3,316
その他	15,214	10,980
小計	△126,631	171,808
利息及び配当金の受取額	42,254	39,650
法人税等の支払額	△6,975	△4,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,353	207,290
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,500	△20,500
定期預金の払戻による収入	13,500	19,500
有形固定資産の取得による支出	△2,425	△9,004
投資有価証券の取得による支出	△294	△27,213
その他	60	△3,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,660	△40,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△897,264	△4,189
配当金の支払額	△81,870	△74,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△979,134	△78,670
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,079,148	88,154
現金及び現金同等物の期首残高	6,790,711	6,363,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,711,563	6,451,468



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 卸売部門の販売・仕入状況

(1) 販売実績

部門別	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	5,816,807	5,459,191	23,546,637
冷凍魚部門(千円)	2,105,678	1,744,503	7,996,519
塩干魚部門(千円)	3,136,474	3,049,136	13,254,791
合計(千円)	11,058,960	10,252,831	44,797,949

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

部門別	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	5,619,521	5,218,410	22,461,754
冷凍魚部門(千円)	2,101,027	1,752,954	7,434,706
塩干魚部門(千円)	3,169,245	2,947,369	12,670,325
合計(千円)	10,889,794	9,918,734	42,566,787

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. その他の事業部門の販売・生産状況

(1) 販売実績

部門別	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	415,774	306,695	1,367,020
食品加工場部門(千円)	112,109	112,896	443,920
冷蔵工場部門(千円)	105,572	99,576	466,061
不動産賃貸部門(千円)	33,214	30,373	118,532
合計(千円)	666,670	549,541	2,395,534

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 生産実績

部門別	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	372,248	277,301	1,256,610
食品加工工場部門(千円)	121,912	114,165	476,582
冷蔵工場部門(千円)	107,938	103,714	456,780
合計(千円)	602,099	495,181	2,189,973

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は、ごく少数の特殊製品について受注生産を行うほかはすべて見込生産であります。